

しょうがっこうがくねんむ
小学校高学年向き

「のぞく図鑑 穴」

みやたまき へん ちょ しょうがくかん
宮田珠己／編・著 小学館 (454ミ)

穴から広がるおどろきの世界。穴の中の遊園地、ずっと火が燃え続けている穴、人が住む穴の街、列車が走る鍾乳洞…。大小200以上の世界の穴を写真や図とともに紹介。動物たちの巣穴事情、ブラックホールなども取り上げる。



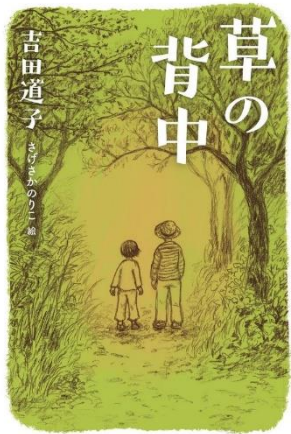
よんで よんで

としょかん しょうがくせい ほん しょうかい
図書館から小学生のみなさんにおすすめの本をご紹介します

No. 96 2024年3月発行 鶴ヶ島市立図書館児童サービス担当

*内容紹介は tooli 新刊全点案内より

しょうがっこうがくねんむ
小学校低学年向き



「草の背中」

よしたみちこ さく さげさかのりこ へん
吉田道子／作 さげさかのりこ／絵

あすなる書房 (ヨシ)

味の誕生日に祖母が言っていた、「今度、わたしの11歳のときの話をするね。それは、ちょっと勇気のいる話。さ・も・し・い話」。でも小さな秘密を遺して祖母は亡くなり…。生きることの意味を教えてくれる心あたまる物語。

「鳥は恐竜だった」

とり す はしんか ものがたり
鳥の巣からみた進化の物語

すずき まもる さく へん
鈴木 まもる／作・絵

アリス館 (488ス)

色々な形の鳥の巣。どうしてこんな形をしているのだろうか？ 鳥は、どうやって空を飛べるようになったのだろうか？ さまざまな鳥の巣が教えてくれる、恐竜から鳥への進化のふしぎに迫る絵本。ポスター付き。

鳥は恐竜だった



「ONE WORLD たったひとつの地球」

ニコラ・デイビス／作 ジェニ・デズモンド／絵 ながともけいこ やく
ニコラ・デイビス/作 ジェニ・デズモンド/絵 長友恵子/訳

フレール館 (E)

氷が溶けて獲物がとりづらくなっている北極のホッキョクグマ、木を切られ山の一部だけでくらすテナガザル…。

「今この時間」に、地球のほかの場所で起きていることや、それぞれの場所で暮らす生き物の様子を紹介する絵本。

しょうがっこうていがくねんむ
小学校低学年向き



「はるさんと1000本のさくら」

ただのぶこ/作

ちゅうおうこうろんしんしゃ
中央公論新社 (E)

はるさんは、村で一番若いおばあさん。山の谷の小さな村にはもう、10人のおばあさんしか住んでいません。おばあさんたちは話し合い、1000本の桜を植えることにして…。過疎の村が時を経て生まれ変わるまでを優しく描く。

「かがみのなかのボクとぼく」

あんず ゆき/作 くすはら 順子/絵

ぶんけんしゅつぱん
文研出版 (アン)

いじわるなリクの友だちは、鏡にうつる自分だけ。ある日、鏡の中の自分に話しかけられた。鏡の中の自分は、リクではなくワクと名乗った。リクは鏡の中のふしぎな世界へすいこまれて…。



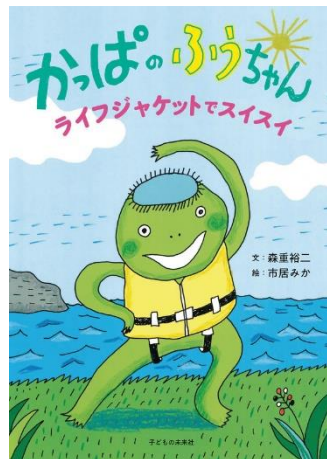
「かっぱのふうちゃん

ライフジャケットでスイスイ」

もりしげ ゆうじ ぶん いちい
森重 裕二/文 市居 みか/絵

こどもの未来社 (E)

泳ぎがうまくないかっぱのふうちゃんのところ、サンタみたいなおじさんがライフジャケットを持ってきて…。ライフジャケットの必要性・使い方が子どもにもわかり、水辺の安全を学べる絵本。見返りに楽譜あり。



しょうがっこうこうがくねんむ
小学校高学年向き

「だれよりも速く走る 義足の研究」

えんどうけん さく かいせいしゃ
遠藤謙/作 楷成社 (494 エ)

義足アスリートが、健足アスリートを超越する。それが実現したとき、人類のあらたな可能性の幕開けになるはず。めざすは人類最速! あたらしい「あたりまえ」に向かって挑戦しつづける義足エンジニアが、身体みらいの未来を語る。



「ぼくちの震災日記」

ささき ひとみ/作 ほんごう けい子/絵

しんにほんしゅつぱんしゃ
新日本出版社 (ササ)



おおじしん 大地震のあった翌朝。友樹の家は、電気もガスも水道も止まっていた。家族みんな無事だったが、水が出ない、暖房も食べ物もない日々がこんなに大変とは…。震災後4日間、家族のがんばった日記。
『河北新報』連載を加筆修正。

「元気のゆずりあい

地下室にいた供血犬シロ」

べっし よしこ ぶん フレーベル館 (489 ペ)

輸血治療が必要な病気やけがをしている犬に血を提供するために働く「供血犬」。動物病院の地下室で供血犬に出会い、幸せな暮らしをさせたいと願ったケリーさんの行動から、動物たちの幸せ、アニマルウェルフェアを考える。

